

2021（令和3）年度 新潟農業・バイオ専門学校  
学校関係者評価委員会 議事録

新潟農業・バイオ専門学校 教務部

日 時 : 2021年6月4日（金） 17:30-18:30

場 所 : 新潟農業・バイオ専門学校 303 教室

出席者 : ○学校関係者評価委員会

廣川 一雄 長潟新栄自治会 会長（近隣住民）  
田中 一幸 株式会社 ベジ・アビオ 取締役（関連企業）  
山倉 和葵 山倉農園（実習受入先・卒業生）  
岡田 未波 株式会社 芳樹園（卒業生）  
前田 和明 在学生保護者

○新潟農業・バイオ専門学校

学校長 大田 英則／副校長・教務部長・就職部長 秋山 正之  
農業系学科主任 渡辺 大輔／農業系学科講師 槇坂 寛幸／  
農業系学科講師 田村 晃宏／フラワー系学科主任 北澤 道子／  
フラワー系学科講師 増田 和人／バイオ系学科学科長 岡野 康弘／  
バイオ系学科主任・放送大学統括 峯岸 希一／バイオ系学科講師 矢島 裕幸／  
事務局長 阿部 直樹

議 事 : 議題① 令和2（2020）年度 学校運営報告  
議題② 令和2（2020）年度 内部評価委員会報告  
議題③ 令和2（2020）年度 学校関係者評価協議

議題① 令和2（2020）年度 学校運営報告

在籍状況、卒業生進路実績、検定・コンペ実績、教育活動について配布資料に使い説明した。

議題② 令和2（2020）年度 内部評価委員会報告

6月1日実施の内部評価委員会における、令和2（2020）年度の内部評価を報告。  
昨年度から変更した評価は以下の通り。

4. 学習成果	24. 退学率の低減が図られているか	前回3 ⇒ 今回2
---------	--------------------	-----------

《理由》 令和2年度の退学者が7名で、令和元年度も7名と大幅に増加したが、その改善策が達成できていないため。

議題③ 令和2（2020）年度 学校関係者評価協議

内部評価と評価委員の事前アンケートを基に評価指標案を提示。各項目について協議を行った。

1. 教育理念・目標

校訓を柱とした職業教育は実践されている。特に問題ない。

（次ページへ）

## 2. 学校運営

### 《意見》

田中委員：時間割の都合上、仕方ない部分もあるかと思うが、当社で受け入れている学生の通年実習について、決まった曜日での実習だと、学んでいただく作業がある程度決まってくる。受け入れる側の努力も必要かと思うが、期間によって曜日を変更するのはどうか。

当校回答：今後、前後期で訪問曜日を変更するなど、時間割の編成を検討したい。

廣川委員：学校の教育活動をもっと近隣自治会にPRしてほしい。自治会では月2回程度「回覧板」を回している。山潟小学校への教育活動も含め「かわら版」などで知らせてほしい。

当校回答：地域の皆様への学校活動に対する理解を促進するため、提案いただいた内容は検討したい。現在はコロナ禍で難しいが、学校の敷地で野菜の直売も行った実績がある。実施できる状況になったら、地域の皆様に理解促進の一環として実施したい。

## 3. 教育活動

### 《意見》

岡田委員：現在植物販売の現場にいるが、学校で学んだ植物管理の方法が活用できている。

山倉委員：学生の通年実習を受け入れているが特段問題ない。強いて言えばもう少し集中力が欲しい。

当校回答：1年次の基礎実習において、作業への集中が現場で求められていることを指導したい。

## 4. 学習成果

内部評価の変更も含め、特に問題なし。

## 5. 学生支援

山倉委員、廣川委員：卒業生へのフォローアップとして、学びの場、情報提供があると良い。

当校回答：卒業生への情報提供、技術や活動の支援はこれまでも行ってきた。昨年度は卒業生が就職した酒蔵で大量に出る酒粕を使って食品開発を行い、産学連携の取り組みにつながっている。

## 6. 教育環境

### 7. 学生の受入れ状況

### 8. 財務

### 9. 法令等の順守

特に問題なし。

## 10. 社会貢献・地域貢献

### 《意見》

岡田委員：圃場の一部を「オープンガーデン」として公開し、地域の方に楽しみを提供してはどうか。

廣川委員：地域の緑化活動として、花植え、草取りを学生たちに手伝っていただくことはできないか。

当校回答：東日本大震災後、各地の緑化で活用された「種だんご」を使用した活動を提案したい。種を蒔くよりも発芽する割合が高く、比較的手軽に実施できる。ぜひ地域の皆様に、学校の教育活動を知るきっかけとして取り組みたい。

各項目の評価指標案が適切であるかを協議し、全委員が評価案を承認。学校関係者評価決定に至った。

以上